



# 「ひと部屋断熱改修」がもたらす効果

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会  
代表理事会長 盛 静男

2023年8月30日

# I 生活者（国民）の健康維持、改善につながる

## ① 世界保健機構（WHO）が冬季室内温度18°Cを強く勧告

- ・ 18°C未満：血圧上昇、循環器系疾患の恐れ
- ・ 16°C未満：呼吸器系疾患に対する抵抗力低下をまねく恐れ
- ・ 5°C：低体温症を起こす危険がある

## ② 夏季室内熱中症対策を勧告

- ・ 熱中症死亡者数が1387人（2022年6～9月）うち80%は65歳以上
- ・ 発生場所の42.6%が住居内（室内温度28°C目安に過ぎず）
- ・ エアコンを使わない高齢者が多い（電気代がもったいない）



## II

# 光熱費の削減

### ① 冬季室内温度18°C未満の住宅が多く存在する現状

- ・ 寒冷地（北海道など）は1日中、暖房器具を使って部屋を暖めている
- ・ 日本の住宅の多数が断熱性能を満たさない現状
- ・ 断熱改修を実施することで暖房、エアコン効率が良いくなる



光熱費、CO<sub>2</sub>を減らすことができる

# III カーボンニュートラル実現に向けて

## ① 2050年までに「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言

- ・エネルギー消費の30%を占める建築分野です。
- ・断熱等級5を満たすことが重要（ZEH基準以上を目指す）

## ② 「ひと部屋断熱改修」から始めることがポイント！！

- \* 家全体の断熱改修には多額の費用が掛かる（1,000万円以上必要）
- \* ひと部屋だけの断熱改修ならば1/10以下に抑えることができる。

CO<sub>2</sub>を減らすことができる



# IV

## ジェルコの役割

- ① 「ひと部屋断熱改修」から始めましょう！をスローガンに
  - \* 「ひと部屋断熱改修」が、国民の生命を守ることに繋がる・・・志ある事業者
  - \* 室内温熱環境が健康に影響することが種々のデータから明らかに・・・
  - ・ 生活者と全国の小規模工務店、リフォーム店に周知させる活動！！
- ② 健康と断熱の知識習得、断熱施工技術者の育成
  - \* 対象：全国の小規模工務店、リフォーム店
  - ・ 健康に関する研修会 （国民会議様の医療関係者、医師）
  - ・ 断熱改修技術研修会 （ジェルコ、関係団体様と協力）
- ③ 全国の自治体の皆様と連携して進めたい
  - ・ 「ひと部屋断熱改修」説明会、研修会を全国各地で実施



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





「ひと部屋断熱改修」から始めましょう！